

存在の考察

今を生きる

生きてきた私たちの
からだそのものが
作品である。

舞踏家 大野慶人

〔岡登志子の手記より出典〕

Contemporary
Dance
Performance

2024 2.24 Sat 25 Sun

開演 14:00 (開場 13:30)

山形県郷土館「文翔館」議場ホール

●主催/山形県・公益財団法人山形県生涯学習文化財団 ●主管/山形県芸術文化協会 ●お問合せ/文翔館 TEL 023-635-5500
●協力/大野一雄舞踏研究所・NPO法人ダンスアーカイヴ構想

本公演の開催について変更が生じる場合は、文翔館HPに掲載いたします。また、開催変更の場合を除き、いかなる場合もチケットの払い戻しは行いません。

振付・演出・構成/加藤由美 ゲスト振付家/岡登志子
出演者/ダンススペース・山形県在住のシニアダンサー

終演後アフタートークを予定しています。

入場料 全席自由

一般:1,100円[当日券1,300円]/高校生以下:500円[当日券700円]

※当日券は残席のある場合のみ販売いたします。※未就学児入場無料(ただし、席が必要な場合は有料)

チケット取扱 文翔館・山形県芸術文化協会・八文字屋本店 POOL

©東海林 晴哉

Contemporary Dance Performance

コンテンポラリーダンス公演
存在の考察～今を生きる～

生きてきた自身の歴史や思いを、
存在することと存在していることへの問いかけを、
自身のからだで表現していきます。

dance
space

ダンススペース <https://dancespace.hp.peraichi.com>



1998年から2016年まで定期発表会を開催のほか山形県洋舞合同公演に毎年参加。2006年より海外公演も開催し、アメリカ、ギリシア、フランス、スペインなどの主要都市と世界遺産の地で単独公演並びに現地ダンススタジオとの合同公演を行ってきた。

踊ることや踊りに関わることによって地域社会や地域活動に貢献できる、自ら考え創造し選択できる、山形の芸術文化に貢献できる人材を育てることを目的としている。

ゲスト振付家

岡 登志子 TOSHIKO OKA

ドイツNRW州立Folkwang芸術大学舞踊科卒業
アンサンブル・ゾネ主宰

神戸を拠点にドイツで習得したダンスメソッドを実践しながら、現代を生きる人間に共通する身体を通し、人間の実存を問う作品づくりを行っている。音楽家や美術家との即興活動も継続中。

2010年より大野一雄フェスティバルに参加。

2014年神戸長田文化賞受賞。

2018年KOBE ART AWARD大賞、神戸市文化賞受賞。

近作に「緑のテーブル2017」(2017神戸初演、2018愛知・東京、2019・2022神戸、2023神戸)、「2022 空 そこはかとなく 刻々に」(2022神戸)、ピアニスト高瀬アキとの共同製作「キッチン」(2022西宮、姫路、上田、豊岡)。

<http://ensemblesonne.com>



振付・演出・構成

加藤 由美 YUMI KATO

ダンススペース主宰(1998年 山形市に設立)
東北芸術工科大学 身体表現/ダンス非常勤講師
山形大学 地域教育文化学部/非常勤講師
東北文教大学附属幼稚園/ダンス講師
山形北高チアリーダー部/外部コーチ
パストラボ山形ワイヴァンズチアリーダー/アドバイザー
他、福祉施設や教育機関のダンスと身体表現講師



©戸村 篤



©Ryuhei Yokoyama



©三輪岳史

